

## 5月のIT・EMM 合同研究会の開催方法の変更

2021年4月16日

EMM 研究会委員長 川村正樹

5月の研究会で発表予定の皆様、および、参加予定の皆様へ

いつも研究会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

昨年からコロナ禍にあり、研究会のオンライン開催が続いておりました。一時期、感染者数の減少もあり、緊急事態宣言が解除されたのを受け、本研究会では5月の研究会を現地開催とすべく準備を進めて参りました。しかしながら、計画時の状況から一変し、5月の研究会はオンライン開催へと変更することに致しました。あしからずご了承ください。

申し込み時において、「新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン開催に変更する場合がございます」、および、研究会 WEB ページにおきまして、「4月20日以降に緊急事態宣言が出された場合はオンラインに切り替えます」とご案内して参りました。現時点では、緊急事態宣言は出されておりませんが、まん延防止等重点措置が各地で出されており、都市部では一日の感染者数が過去最高を更新するなど、緊急事態宣言に相当する状況にあると判断しました。

幹事団におきまして、出張等の可能性について所属機関からの要請をまとめると、概ね不要不急の出張は避けるように指示されていたり、所在地の都道府県以外に移動することを制限していることが多く報告されました。第4波では、感染者の多くが変異株に感染しており、これは感染力が強く、重症化しやすい、さらに、若者への感染率も高いとも報道されています。研究会には大学に所属している方も多く、学生への感染拡大は避けるべきと考えます。

今後、緊急事態宣言が出される可能性も高く、発表会の直前に開催方法を変更することは、発表者へ負担をかけること、及び、旅行計画の中止に伴う事務作業の増加が予想されます。そのため、予定より早く、オンライン開催へ変更することを決定いたしました。現地でお会いできることを非常に楽しみにしておりましたが、以上のような状況を鑑み、決断いたしました。5月の研究会はオンライン開催となりますが、盛り上げていきたいと思っております。皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後も IT 研究会、EMM 研究会の活動にご協力をお願い申し上げます。

最後に、現地担当として準備を進めて頂いた、岡山大学 栗林先生にお礼申し上げます。